

確かな学びと豊かな心・健やかな体をはぐくむ 学校力向上プラン【学校評価計画書】

堺市立三原台中学校
校長 赤阪 博之

中学校区におけるめざすこども像
人権意識を高く持ち、特別支援教育を通して、児童生徒の自己肯定感や他者への思いやりの心を育てる （特別支援教育の視点に立った誰一人取り残さない教育の実施）

令和8年度 重点目標	
1) 総合的な学力を育てるための指導の充実・改善	4. 道徳教育において自身の生き方について考えを深め、道徳的な判断力、心情と態度を育てるとともに、教育活動全体を通じて様々な人権にかかわる教育に取り組む。
1. 落ち着いた学習環境を確立するため、学校全体で学習規律の確立をめざす。	(3) 学校・家庭・地域との連携
2. 生徒自らが課題や見通しを持ち学習を振り返る主体的な学びを重視するとともに、「わかる喜び」を実感できる授業をめざす。特に、ユニバーサルデザイン化の深化とともに効果的にＩＣＴを活用しながら、「学びのコンパス」に向けた授業改善を進める。	1. 広報活動を充実させ、学校の方針や取組の理解をより深める。
3. 家庭・地域の協働により、基本的学習習慣や家庭学習習慣の確立をめざす。特に「みんないく」への取組を中心に、心身ともに健康な生徒を育成する。	2. 9年間を見通した「学校群」をはじめ、幼保小中高大の連携により、子どもの育ちと学びが連続する「縦につながる教育」を推進する。
(2) 豊かな人間関係で結ばれた集団づくり	3. 保護者や地域の人々の学校教育への参加促進をはかるべく、「みんないく地域づくり推進委員会」と「学校協議会」との協働、運営の活性化を図る。
1. 互いの存在を尊重し信頼で結ばれた成長し合う学級づくりを進める。	(4) 校内研修の充実と、学校のチーム力の発揮
2. 色々な人と関わる活動を行い、自他の人の立場を考え、お互いに認めあえる生徒の育成、集団づくりをする。	1. 日頃から教育活動や危機対応の共通理解を図り、組織的な対応をめざす。
3. 生徒一人ひとりが自分のよさや可能性を知り、それらを発揮し未来の創り手となるために「誰一人取り残さない」教育を充実させる。	2. 授業づくりや集団づくりの研修を進め、いじめ・暴力のない安心できる学びの場づくりを進める。

「確かな学び」の現状					「豊かな心・健やかな体」の現状				
基本的な生活習慣が定着しており、規範意識も概ね良好であることから、多くの生徒が落ち着いた態度で学習に取り組んでいる。しかしながら、自らの気づきや疑問、課題等を適切に言語化し、見通しをもって学習を振り返るといった主体的な学習態度の育成については、なお一層の充実が求められる。さらに、「学校群」における重点目標である「特別支援教育の視点に立った誰一人取り残さない教育の実現」に資するため、生徒一人一人が受け入れられ、主体的に関わる授業づくりを一層推進するとともに、理解する喜びを感じられる学習活動の充実を図る必要がある。					人権教育や道徳の授業を通して、生徒は多様な視点から自らの生き方や道徳的な判断力、心情、態度について主体的に学んでいる。中学校区で掲げる子ども像の実現に向けては、学校生活のあらゆる場面において自己肯定感を着実に高めるとともに、他者と協働しながら共に支え合って生きていくための豊かな心を育むことが重要である。また、体育の授業の工夫や部活動などを通じて、子どもたちが体を動かす楽しさや達成感を十分に実感し、主体的に運動に親むことができるような取組を一層充実させる必要がある。				

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組、★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (〇月)		達成状況 (年度末)			
									自己評価		学校関係者評価	
確かな学び	授業改善	主体的に学習に取り組む態度・学習意欲の向上	授業研究や校内研修等の更なる充実を図り、指導方法の工夫改善、指導力向上に取り組む。 ●ICT を効果的に活用し、問題解決的な学習とともに、より深く理解したり情報を精査して自ら考える等「学びのコンパス」に向けた取組を進める。	肯定率85%以上 全教員公開授業実施 肯定率80%以上 グループ別公開授業と討議	堺市学力学習状況調査 参観・研修委員会討議 堺市学力学習状況調査 参観・グループ討議	年度末 随時 年度末 随時						
	基礎学力向上	学びのルールと学び合う集団づくり	落ち着いた学習環境を確立するため、基本的な生活・学習習慣について、教職員が共通理解して取組を進める。	肯定率85%以上	実施報告 堺市学力学習状況調査	年度末						
			ルーブリックを活用し、「気づき・疑問・課題・振り返り」等、思考を可視化する「書く活動」を積極的に導入することで、特に「振り返り」の質の向上を図る。	肯定率80%以上	堺市学力学習状況調査	年度末						
●調べ学習や話し合い活動・グループ(ペア)学習を積極的に取り入れ、教え合いをする等、わかる喜びを一人でも多く実感させる。			肯定率80%以上	堺市学力学習状況調査	年度末							
豊かな心の育成 豊かな心・健やかな体	豊かな心の育成	心身の調和のとれた子どもの育成	●あらゆる教育活動の中で、物事を最後までやり遂げる成就感や達成感を得られるようにすることで生徒の自尊感情を高める。	肯定率85%以上	堺市学力学習状況調査	年度末						
			●道徳教育において自身の生き方について考えを深め、道徳的な判断力、心情と態度を育てることで豊かな人権感覚を身につけさせる。	肯定率85%以上	堺市学力学習状況調査 生徒のワークシート	年度末						
			学校司書と連携し、学校図書館の開室日数を増やし、有効且つ計画的な活用を進めることで、生徒が読書に興味を持てるよう啓発を促す。	図書室入室者数 肯定率65%以上	図書担当教諭 実施報告 堺市学力学習状況調査	年度末						
	生徒指導の充実	「みんなく授業」「睡眠朝食調査」「面談」を活用し、「睡眠を切り口とした生徒指導」という視点で、生徒に自らの健康について考えさせる。	肯定率85%以上	みんなく担当者会議 学校教育アンケート	年度末							
		SNSやスマホの正しい使い方等、情報モラルについて理解を深めさせ、ネットトラブルやいじめ防止に努める。	肯定率90%以上	堺市学力学習状況調査	年度末							
開かれた学校づくり	地域・校種間連携	地域への情報発信や地域連携及び小中一貫教育の充実	★「学校群」の教育目標や重点目標を共有し、小中教職員が一体となり児童生徒の9年間を見通した教育実践を行い、地域や保護者への発信も更に進める。	定期的な学校群の会議を行い3効果検証	実施報告 学校教育アンケート	年度末						
			青少年健全育成協議会の学校が関わる事業を充実させるとともに、地域行事への参加、等で地域との密接な関係を築く。また平素から学校の情報を積極的に発信する。	協議会での肯定評価 肯定率90%以上	実施報告 学校教育アンケート	年度末						
校長より (年度末)								学校関係者評価者から (年度末)				